

法政大学大原社会問題研究所

# 所 報

(2003.2.1～2.28)

## 刊行物

『インターネットは社会問題構築にどのような影響をおよぼすのか：社会問題に関するWEBサイトの内容分析』(ワーキング・ペーパーNo.12)

『大原社会問題研究所雑誌』532号(2003年3月)

## 図書受入

	和書	洋書	計
購入	89	23	112
受贈	56	0	56
合計	145	23	168

## 閲覧サービス

### 閲覧

開館日数 23日  
 閲覧人員 36名  
 貸出図書 24冊

### コピーサービス

学外 29件 4689枚  
 学内 5件 27枚

## 日誌

- 4日 原田寛氏(労働者文学会議)より労働者文学関係図書10冊を受贈
- 6日 法学部入試(B方式),文学部入試(B方式),現代福祉学部入試(B方式),キャリアデザイン学部入試(B方式)
- 8日 現代労使関係・労働組合研究会 経営学部入試(日程)
- 9日 現代福祉学部入試(A方式),情報科学部入試
- 10日 工学部入試(日程)
- 11日 経営学部入試(日程)
- 12日 経済学部入試(A方式)
- 13日 工学部入試(日程)
- 15日 社会学部入試
- 16日 法学部入試(A方式)
- 17日 文学部入試(A方式)

- 18日 国際文化学部入試
- 19日 人間環境学部入試  
『日本労働年鑑』編集会議
- 20日 キャリアデザイン学部入試(A方式)
- 22日 加齢過程における福祉研究会  
報告者 仲田富三雄氏(品川区保健高齢事業部高齢福祉課調整係長)  
テーマ 「品川区における介護保険 経過,現状,課題」
- 24日 平田哲男氏よりレッドページ関係図書・資料受贈(段ボール1箱)
- 25日 来所:李鐘久・韓国聖公會大学校社会科学部 副教授,申源澈聖公會大学校社会文化研究所研究教授

## 事務会議

- 26日 運営委員会  
議題 諸報告  
兼任研究員人事について  
客員研究員および嘱託研究員人事について  
「中期計画実施計画」について  
その他

## 記念公開講演会

講演者 二木麻里氏(翻訳家,「アリアドネ」主宰者)  
 テーマ 「インターネットにおける学術情報公開の現状と課題 アカデミック・リソースの地図を書く」

## 研究員総会

## 懇親会

見学:二木麻里氏,岡崎源一郎氏(順天堂大学図書館課長補佐)

大原社会問題研究所雑誌 No.535(2003年6月号)

2003年6月25日発行

定価1,000円(本体952円),年間購読料12,000円

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所

所長 相田利雄

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

電話 042(783)2307

## 投稿募集

本誌は社会・労働問題に対する論文、調査報告を募集しております。下記の規定に基づいてご投稿下さい。

### 投稿規定

1. 投稿原稿は2部とし、ワープロ作成による未発表のものに限ります。
2. 原稿の分量は、原則として20,000字以内(図表を含む)とします。
3. 原稿には、審査に資するため、600字以内の要約を添付してください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。
5. 初めて投稿される方は、研究歴など簡単な履歴を添付してください。
6. 掲載原稿には、所定の原稿料をお支払いいたします。

#### 【原稿送付先】

〒197-0298 東京都町田市相原4324

法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

### 論文執筆要領

論文を執筆される場合には、下記の点に留意してください。

執筆者校正の際には、原則として原稿を返却しませんので、原稿のコピーを確保しておいて下さい。

原稿をプリントアウトする場合には、ある程度の行間を取って下さい。

#### 1 一般的な原則

横書きとする。

タイトル、氏名の次に簡単な目次をつける。

原稿の最後に、執筆者名(ひらがな)、肩書き(所属、職名)を記入する。肩書きは大学の場合には、学部、研究所等の名称まで表記する。

注をつける場合には、各章ごとに分割せず、最後に一括し、通し番号をつける。

図、地図などは、可能な限りトレース済のものを提出する。

#### 2 注記の方式

日本語の図書・論文の場合

A. 日本語で書かれた図書については、著者名、書名(書名は『』で囲む)、出版社名、発行年(原則として西暦)の順に書く。ページ数を記入する場合には、発行年の次に記入する。

B. 著者が2人の場合には、両者の姓名を書く。3人以上の場合には、「他」の方式も可とする。

C. 論文については、執筆者名、論文名(「」で囲む)、掲載雑誌名(『』で囲む)、巻号、発行年月日の順に書く。

D. 注の最後は、かならず「。」で止める。

欧文の図書・論文の場合

A. 欧文の図書については、著者名、書名、発行地(あるいは出版社名)、出版年を書く。書名は、イタリックにするので、下線を引くなどして書名の部分を他の部分と区別する。

B. 論文の掲載雑誌名は、イタリックとする。

C. 再出を示す「ibid.」「op. cit.」などもイタリックにする。

D. 注の最後は、かならず「。」で止める。

以上